

共同利用・共同研究に関わる各種お知らせ

共同研究専門委員会よりお知らせ

共同研究専門委員会では、分子科学研究所が公募している課題研究、協力研究、分子研研究会、若手研究会（平成30年度より「若手研究活動支援」と名称変更）、および岡崎コンファレンスの申請課題の審査を行っています。それぞれの公募の詳細については分子研ホームページ（<https://www.ims.ac.jp/guide/>）を参照いただきたいと思います。

共同研究の現状について、平成24年度から平成30年度（6月15日現在）までの採択数の推移をまとめたものを下記に示しました。分子科学研究所は、文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」事業における「分子・物質合成プラットフォーム」の実施機関となっており、通常の協力研究に加え、本事業における協力研究も実施しています。また、下表にある「特別協力研究」とは、共同利用研究の予算ではなく、自前の予算を使用して実施された共同研究です。萌芽的な段階における共同研究や、来所を伴わない共同研究などがこれにあたります。特別協力研究により共同研究の芽を見出すことができれば、是非、積極的に「協力研究」や「課題研究」に応募いただきたいと思います。

前回の記事では、今後の共同利用研究申請は、自然科学研究機構全体で統一した電子申請システム（NOUS）を利用したものへと移行し、平成30年度前期の随時申請から新システムによる申請を開始予定である旨をお知らせしましたが、新システムの調整に時間を要しており、システム切り替えの時期は多少遅れる見通しです。システム切り替えの時期が確定しましたら、あらためて研究所ホームページ等でアナウンス致します。

6月18日に発生した大阪北部地震では、関西地方の大学等、研究機関の中にも被害が確認されており、研究活動に支障が出ております。分子科学研究所では、被害を受けられた研究者の皆様のお力になればと考え、研究教育活動の早期回復を支援するために、共同利用研究の枠組みを利用して、可能な限りの研究支援を実施致します。支援内容の詳細につきましては、ホームページ（https://www.ims.ac.jp/news/2018/06/20_4009.html）をご参照いただきますとともに、所内対応者（所内の教授または准教授）にご相談下さい。また、適当な受入研究室が見あたらない場合などは、共同研究専門委員会委員長（Tel. 0564-59-5575, E-mail: aono@ims.ac.jp 青野重利）までご相談下さい。

共同利用研究の実施状況（採択件数）について

種 別	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (6月15日現在)
課題研究	1	2	1	2	2	1	2
協力研究	123	64	64	62	82	73	22
特別協力研究*	—	167	224	253	318	361	—
協力研究（ナノプラット）	—	51	63	64	80	69	44
分子研研究会	10	10	6	11	6	10	5
若手研究活動支援**	1	1	2	1	1	2	1
岡崎コンファレンス	1	1	1	1	3	0	1
計	136	296	361	394	492	516	75

*平成25年度以降、集計開始。平成30年度分は未集計。 **平成30年度から、若手研究会は若手研究活動支援と名称変更。

分子研研究会

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成30年1月26日～27日	電池の分子科学：理論と実験のインタープレイ最前線	山下 晃一（東京大学大学院工学系研究科）	48名
平成30年3月4日～5日	刺激と応答—金属錯体は何を結ぶか	柘植 清志（富山大学大学院理工学研究部）	26名
平成30年5月29日～30日	化学と情報科学との融合による新化学創成研究会	阿尻 雅文（東北大学材料科学高等研究所）	34名
平成30年6月1日～2日	新たな元素戦略を切り開く物質科学研究会	小林 玄器（分子科学研究所）	25名
平成30年6月10日	光とナノ物質の相互作用：分子科学の未来にむけて	斉藤 真司（分子科学研究所）	93名

若手研究会等

開催日時	研究会名	提案代表者	参加人数
平成30年6月10日	第58回分子科学若手の会夏の学校 講義内容検討会および開催支援	加藤 史明（京都大学大学院理学研究科）	21名